



議員になって一年が経とうとしています。

この間、待機児童問題をはじめ男性も女性も子育てのしやすいまちづくり、地域における多文化共生の推進、外国人や性的少数者などマイノリティの人権問題、そして関越道路高架下の「再開発」を含め様々な地域の課題に全力で取り組んできました。

こうした活動を通じて地域に住む皆さん一人ひとりとのつながりを改めて実感し、多くの学びを得た一年でもありました。これからも地域の中で、皆さんの方に耳をしっかりと傾けて二年目に向かいたいと思います。

# い・か・わ・せ・て わ・ら・版

## 2016年度予算について

練馬区の来年度予算は過去最大の2,600億円に達しようとしています。問題は規模ではなく、その中身です。

**練馬区のまちづくりは、大きな転機を迎えています。**

区は、都市計画道路の整備や駅前の大規模開発への強い意向を前面に立て、みずからの意思を押し通そうとしてきました。今後の予定にも、異論の強い道路、合意のない道路、緑やコミュニティに影響を与える道路計画が数多く盛り込まれようとしています。

**地域の貧困も大きな問題となっています。**

学校給食が唯一の栄養源となっている児童や生徒もいます。貧困であることは、お金がないということだけではありません。落ちついて勉強できる環境がない、朝食を食べていない、社会とのつながりが断たれているなど、子どもや家庭の努力ではどうにもならない問題が存在しています。練馬区は、子どもから高齢者まであらゆる貧困問題に最優先で向き合うべきです。

**子育てについても、4月からの入園に向けて多くの保護者から保育園に入れなかったというご相談をいただいている。**

また、新たに始まった「ねりっこクラブ事業」は、質の高い保育を安定的に提供するという点で課題が山積しています。

新年度予算はこうした問題点を解決しないまま進められようとしており、私たちは予算案に反対しました。

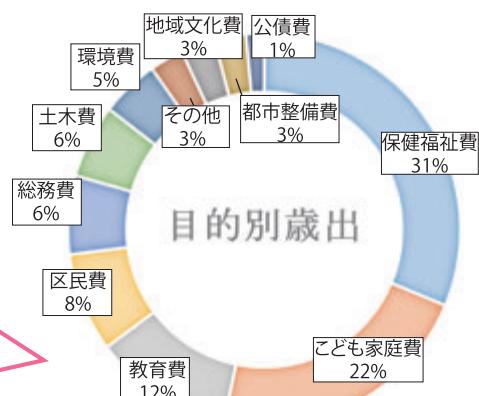
### もし、練馬区の予算が1000円だったら

保健福祉費	313円	環境費	48円
こども家庭費	220円	その他	28円
教育費	115円	地域文化費	28円
区民費	82円	都市整備費	26円
総務費	64円	公債費	15円
土木費	61円		

…2016年度予算はこのように使われます。

### 2016年度予算で改善、見直しを求めた事項

- ・非核都市宣言に基づく核廃絶のための活動強化
- ・性的マイノリティへの支援体制の拡充
- ・非常勤職員の労働関連法規の遵守
- ・障がい者差別解消のため条例制定
- ・就労継続事業所の工賃引き上げ
- ・高齢者有料居室事業の継続・充実
- ・サービス付き高齢者住宅の家賃助成
- ・産科診療所・助産所など、出産場所の整備
- ・135、232道路の凍結、学芸大通りの拡幅
- ・放射35号道路南進区間の必要性の再検証
- ・路線の評価詳細の明示
- ・青梅街道インターチェンジ計画の凍結
- ・石神井公園駅南地区まちづくりの見直しと、住民との合意形成
- ・資源回収の委託単価の引き上げと現場作業員の労働・雇用環境の改善
- ・英語教育の充実と英語指導助手(ALT)待遇改善のためにALTの直接雇用
- ・待機児解消のための保育所等整備と2016年度に向け、小規模保育を増やすなどの緊急対策
- ・特別支援教室は、インクルーシブ教育推進の基盤として活用
- ・学校図書館に週5日以上、直接雇用の学校司書を配置
- ・関越高架下の活用事業は中止
- ・区長参与制度の見直し



市民の声ねりま  
練馬区議会議員  
岩瀬剛史

### 【プロフィール】

1977年生まれ。早稲田大学法学部卒業。早稲田大学大学院経営学修士号(MBA)取得。三井化学(株)勤務後、国際協力機構(JICA)等の専門家として、全世界20カ国以上で地域開発事業に従事。妻、一歳の息子、義母と大泉学園町在住。

・市民の声ねりま副代表  
・第18期 練馬区議会議員に初挑戦、2968票で初当選。一期目。

・文教児童青少年委員会委員  
・総合・災害対策等特別委員会委員

・今後の予定  
・岩瀬にいわせて!  
・こらむ  
・区政報告  
・2016年度予算について  
・ご挨拶

練馬区の現状

発行責任者：岩瀬剛史  
市民の声  
ねりま

## 関越道路の高架下の「再開発」

### 地域の課題①

予算委員会では、**関越道路の高架下の再開発について取り上げました。**練馬区は、現在空き地となっている馬区は、現在空き地となっている関越道路の高架下を『有効活用』するため高齢者センターや倉庫、地域交流スペースなどの建設を計画しています。しかし、高架下には陽が全く当たらず、一日に討すべきだと訴えました。



関越高架下の工事現場

今回建設予定の倉庫も当初は近隣する町会や自治会が利用することを想定していましたが、計画が進む中で、長期に特定の団体に対して貸し出しを行うことが困難と明らかになりました。そのため、倉庫の必要性も含めて再検討すべきだと訴えました。

数万台もの車両が通行するため排気ガス量が多く、騒音も大きいので決して適した場所ではありません。また、老朽化が進んでおり、安全性にも問題があります。さらに、建設によって空気の流れが遮断され、排気ガスが周囲の住居に滞留するといった被害や、災害発生時、高架下を越えて避難することが難しくなってしまうなどの声もあがっています。

## 岩瀬たけしの基本政策

「平和と人権」「いのちとくらし」の区政を！

- ・高齢者、障がい者、性的少数者、外国人など、多様性尊重の練馬へ！
- ・男性も地域と家庭で輝く街へ！
- ・子どもの個性を尊重し世界で活躍する人材を！

## 区政報告

2016年練馬区議会

第一回定例会 2月5日～3月11日



## 待機児童の解消に向けて

### 子育て環境

第一回定例会の最終日、待機児童問題に関して補正予算への反対討論を行いました。2月前半には認可保育所等の二次募集の期間が終わり、一次申込みの結果まで公表されました。最も希望者の多い1歳児では、1,089人の枠に1,800人が応募しており、希望者の40%は断念せざるを得ない状況です。

二次募集の空き状況をみても、認可保育所において、1歳児の空きは全くありません。小規模につい

ても60人程度で、家庭的保育事

業の35人と合わせても100人程度です。このままでは昨年同様、多くの待機児童が発生すると思われます。

練馬区は今年、来年とそれぞれ

待機児解消についての目標を公

にしてきました。今年の4月までに待機児童を解消する、これが区としての公約でした。

しかし1,300人の定員増をした去年でも最終的に176人

の待機児が出ています。現実的に待機児解消の見通しは厳しいと

言わざるを得ません。

そのような中、今回の補正予算では、子育てに関わる多くの予算で使われないまま残ってしまいました。その減額された金額は一般財源だけで7億円にのぼります。

子どものための経費として組まれていた7億円を、緊急の対策を実施するために活用すべきです。

一人でも二人でも待機児が減るよう、最大限の努力をするのが

議会としての責務です。練馬区は先日の委員会での答弁で、ぎりぎりまで親身になって対応したいとしていました。そうであれば、

できるとはまだあると思

います。短期的な対応として小規

模保育事業を見つけることや、既

存の施設での定員の増加や一時預かりの拡充のための努力をす

ることなどもあります。

練馬区はこうした保護者の方

の切実な声と真摯に向き合い、待

機児童の数が一人でも減るよう

ぎりぎりの努力を補正予算に盛り込むべきでした。補正予算が区

民の喫緊の課題に答えるものになつていないのであり、改善す

べきと訴えました。

## #保育園落ちたの私だ！

あまたの予算  
7億円  
子どものために  
使って下さい。

練馬区の保護者・OBの方が4月20日まで、区内の各駅で待機児童への緊急対策を区に求める署名活動を行っています。ぜひご協力ください。

### あとがき

前回のかわら版、「どんな反応があるかな」とドキドキしていたのですが、たくさんのご感想をいただきました。「わかりやすかった」とか、「読んで区議の仕事が分かった」というご感想はとても嬉しかったです。私の意見に賛成の方も反対の方もいらっしゃいましたが、何よりも最後まで読んでいただけたこと、そして反応をいたただけたことが嬉しかったです。

ひとつずつお返事をさせていただきました。(岩瀬)

## 国民保護計画の課題

多文化共生

文教児童青少年委員会での報告の一つが、大泉第一中学校を分断する道路の建設計画について。昨年12月、東京都が10年ごとに見直す「都市計画道路の整備方針(案)」が発表されました。この計画により、補助135号線、補助232号線が今後10年以内に工事を開始する「優先整備路線」に新たに選ばれました。計画を見ると、大泉第二中学校の校庭の南北を135号線が、東西を232号線が、十文字に分断することになります。



また、現行の計画に関しても外国人住民の保護について、災害要援護者の方への配慮について質問と意見表明を行いました。外国からの攻撃を想定した計画だからこそ、外国籍の市民や旅行者への差別や迫害を招くなどということがあつてはなりません。避難の誘導における外国語対応、差別や迫害を招くことを防ぐための備えも必要です。また、特に配慮を要する方への対応や災害時の避難所の運営や救援物資などに関しても地震災害時などの教訓でもあります。女性の視点なども含めてるべきと提言しました。

計画の変更は6月に区長によつて決定されます。

## 大泉第二中が道路で分断?

文教児童青少年委員会での報告の一つが、大泉第一中学校を分断する道路の建設計画について。昨年12月、東京都が10年ごとに見直す「都市計画道路の整備方針(案)」が発表されました。この計画により、補助135号線、補助232号線が今後10年以内に工事を開始する「優先整備路線」に新たに選ばれました。計画を見ると、大泉第二中学校の校庭の南北を135号線が、東西を232号線が、十文字に分断することになります。



道路に関する問題は「環境・まちづくり委員会」が主として担当しますが、文教児童青少年委員会では有識者委員会の設置と、住民説明会の開催が報告されました。

大泉第二中学校は練馬区で最

も歴史のある中学校の一つ、創立

から約60年が経っています。こ

れまでの各学校の特色、個性を伸ば

すことの重要性を練馬区は訴え

続けてきましたが、そもそも大

型道路が校庭を4分割する計画

において、子どもたちの教育環境

を守るということ 자체が不可能

だと思います。道路建設は全面的

な見直しを行うべきであり、その

ために今後も住民の方とともに

議会の中できつかりと活動を続

けていきたいと思います。

## こらむ

先日、朝の駅で街頭演説をしていたら「地方議員ってどんな方が多いんですか?」と質問をいただきました。

「全国市議会議長会」の調査によると

**●女性の比率** 一議会あたりの議員数は平均すると24名ですが、そのうち女性はわずか14%。練馬区議会でも、定員50名に対し女性は24%の12名です(2015年現在)。

**●年齢** 1番多いのは60歳~70歳で全体の42%で、70歳以上も11%。合計すると60代以上が53%となっています。練馬区議会でも、一番若い方は20代ですが、平均年齢は50歳以上です。

**●まとめると**、地方議員には60歳以上の男性が多く、そのうち10年以上務めている方が半分近くを占めるということになります。

議員はすべての区民の代表であり、様々な世代・性別・属性の方の意見を体現することが必要です。同時に、実社会と同じように多様な属性の方が参加することで議会にも多様性が反映されることが望ましいと思います。

## 地方議員はどんな人?



メールマガジン発行中です。ご希望の方は下記アドレスまでご連絡ください!

### 岩瀬たけし連絡所

練馬区大泉学園町1-30-3

Tel: 03-4291-6378

Fax: 03-4283-4596

IwaseteNerima@gmail.com



岩瀬たけし



# 岩瀬にいわせて！ 練馬区の現状



先日の文教児童青少年委員会で、練馬区の小中学生を対象とした体力テストと、生活・運動習慣調査の結果が報告されました。

まず、練馬区の中学生三年生の男子生徒の身長は全国平均よりも0.9cm、女子生徒も0.5cm高い一方、体重はそれぞれ300g程度軽いという結果でした。また、体力については、全体的に全国平均よりも低く、そのなかでも特に中学三年生の男子生徒は、ボール投げでは10%、立幅とびは4%程度低い数値となっています。

今回、最も驚いたのが生活習慣についての報告でした。運動の実施状況や、朝食の有無、睡眠時間等を調査していますが、その中で、練馬区の中学生三年生において、朝食を全く食べていないという男子生徒は全国平均の2倍近い3.4%、睡眠時間について6時間未満と答えた女子生徒が16%に上っていることがわかりました。

成長期の児童や生徒にとって、食事や睡眠は非常に重要です。特に子どもの貧困が社会的な問題となっているなか、朝食を食べないのか、そもそも食べられないのかなど、その背景を把握するとともに行政としてしっかりと向き合うよう求めていきたいと思います。

## 選挙へ行こう！

先日、練馬駅周辺で行われた「戦争法NO!練馬パレード No3」に参加しました。安保関連法制の廃止を求めて行われたこのパレード、毎回参加して今回が3回目。初めて日中に開催されたため、たくさんの親子連れや若い方も。主催者発表では1000名近くの方が参加したこと。

参議院選挙まであと数か月。2014年の衆院選では自民党が61%の議席を獲得し、圧勝しましたが、有権者全体で自民党に投票した方の割合を見ると17%のみでした。一人でも多くの方が選挙に行くことで政治は変わります。

皆さん、選挙へ行きましょう！



## 今後の予定

2016年、区議会の第二回定例会は6月1日(水)～6月17日(金)の予定です。

**中村哲**  
講演会

市民の声  
ねりま  
Tel:03-6806-6312



6.10(金)

18:30 開場 18:45 開始  
入場料 振替り 一般 800円(当日1000円)  
高校生以下 500円  
※高校生以下の方は振替り料金のみで購入下さい  
練馬文化センター大ホール  
練馬駅北口すぐ

アフガニスタンで井戸を掘り、用水路を拓き、砂漠に緑を蘇らせてきた30年。中村哲医師の命と平和を紡ぎ続ける苦闘と前進の跡をたどってみませんか。その先に、"平和立国"日本の希望を探すためにも。

**6月10日(金)18:30開場、18:45開始**

**練馬文化センター大ホール**

**前売り/一般800円(当日/1000円)**

**高校生/500円**

**お申し込み先:**

**市民の声ねりま (03-6806-6312)**

## 生活・法律相談会

岩瀬たけしと、伊藤朝日太郎弁護士の2名が皆様のご相談を無料でお受けします。

4月16日(土)13:30～17:00

岩瀬たけし連絡所(大泉学園町1-30-3)

西武バス『住宅前』下車すぐ。

Tel:03-4291-6378

Fax:03-4283-4596

IwaseteNerima@gmail.com

※ご予約をお願いいたします。



朝の駅頭 毎週三回(水～金)、7時～8時に大泉学園駅で活動のご報告を行っています。



かわら版 議会ごとに作成し、区政報告とともにイベントなどをお知らせしています。



メルマガ 日々の活動について、2週間に1回程度、配信しています。



ブログ 「岩瀬たけし」ウェブサイトでブログを更新しています! (<http://iwasetakeshi.net>)

**IBUKI**



市民の声ねりまニュース「いぶき」購読料1000円(年4回送料込)  
〒178-0063 練馬区東大泉5-6-9 (03-5933-0108)

## 市民の声ねりまは…

一人ひとりの市民の思いをつなぎ、声を区政に届けます

めざすものは「ともに生きるともにつくる」まちと政治

池尻成二と岩瀬たけし、二人の議員を先頭にがんばっています!

